

[3] 貸借対照表

貸借対照表について、推計を行いましたので報告いたします。

貸借対照表（推計）

資産の部

(単位：千円)

科 目		25年度末	24年度末	増 減
資 産	固定資産	20,601,807	20,882,446	△ 280,639
	有形固定資産	17,421,750	17,953,373	△ 531,623
	その他の固定資産	3,180,057	2,927,073	252,984
	流動資産	3,145,815	2,983,154	162,661
合 計		23,747,623	23,865,599	△ 117,978

有形固定資産は減価償却により減少しますが、その他の固定資産では創立100周年記念引当特定資産へ1億円、減価償却引当特定資産へ5千万円、退職給与引当特定資産へ1億円を積み立てますので、2億5,298万円の増加となります。流動資産では現金預金がキャッシュフロー計算書の繰越支払資金の増加額1億358万円増加となり、また25年度退職者に対する退職金財団からの交付金が主である未収入金が5,919万円増加となり、総額では1億6,266万円の増加となります。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目		25年度末	24年度末	増 減
負 債	固定負債	2,607,184	2,835,792	△ 228,608
	長期借入金	527,630	694,250	△ 166,620
	学校債	505,000	514,200	△ 9,200
	長期未払金	6,721	16,599	△ 9,878
	退職給与引当金	1,567,832	1,610,743	△ 42,911
	流動負債	1,132,399	1,030,790	101,609
	短期借入金	166,620	166,620	0
	学校債	111,800	112,400	△ 600
	未払金・前受金・預り金	853,979	751,770	102,209
計		3,739,582	3,866,582	△ 127,000
基本金		29,041,014	28,854,771	186,243
消費収支差額		△ 9,032,973	△ 8,855,753	△ 177,220
合 計		23,747,623	23,865,600	△ 117,977

退職給与引当金については、7,907万円を繰入れしますが、25年度退職者分1億2,141万円を取崩します。また過剰計上となった部門の戻入額が57万円が発生しましたので、4,291万円の減少となります。

固定負債のうち、長期借入金は25年度返済予定額の1億6,662万円減少します。流動負債については25年度退職者の退職金が主である未払金が1億1,342万円の増加となり、総額では1億2,700万円の減少となります。

施設支出、設備支出、借入金の返済などにより第1号基本金への組入れを行い、基本金は1億8,624万円の増加となります。

正味資産	20,008,041	19,999,017	9,024
減価償却累計額	11,719,844	11,190,639	529,205
基本金未組入額	705,986	879,807	△ 173,821
運用資産－負債総額	2,586,290	2,043,645	542,645

消費収支計算書の帰属収支差額(帰属収入－消費支出)の902万円が正味資産の増加となります。

(注) 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）

運用資産＝その他の固定資産＋流動資産